

# ユングのサウンドトラック



[ユングのサウンドトラック 下载链接1](#)

著者:菊地 成孔

出版者:イースト・プレス

出版时间:2010

装帧:B6判

isbn:9784781602882

女優と衣装と音楽と夢の、美しい記憶。

タブーに抵触するため、これまでどこにも発表できなかった松本人志『大日本人』論。

ジャン＝リュック・ゴダールの作品を、「音楽」と「恋」から読み解く超絶の集中講義。

古典から最新作に至るまで、ハリウッド映画を貫くフェティッシュな魅力。

そして脳内で撮影中の「妄想の監督作品」一映画をめぐる、壮大な愛のメモワール。

1

映画は何故、音楽を必要としなくなったか? —ジャン＝リュック・ゴダールを中心とした、映像と音を巡る小論考 (Our Music of Godard; J/L/G 167年までのゴダールを、音楽と共に考える。—アテネフランスにおける講義; ドキュメンタリーとフィクションのはざまで鳴る「音」一対談・蓮實重彦ほか)

2

“脳内映画”と“映画”一いくつかの作品論と作家論、そして楽しい計画 (記憶喪失学; 最もわかりやすく、最も面白くなってしまった“実験”—北野武『TAKESHIS』; 「日本が世界に誇る唯一の文化」という名の個人。という、信じがたい現象が定着するまで我々はどうしていたのか? —宮崎駿『ハウルの動く城』ほか)

3

甘い悪夢の日々—2006~2009 (『2046』のサントラ; お盆は映画三昧; 『ゲルマニウムの夜』と音の不感症ほか)

作者紹介:

菊地成孔 [キクチナルヨシ]

1963年6月14日、千葉県銚子市生まれ。音楽家、音楽講師、文筆家。84年にプロデビュー。その後、デートコースペンタゴン・ロイヤルガーデン、SPANK HAPPYなどのグループを主宰、現在は菊地成孔ダブ・セクステット、菊地成孔とペペ・トルメント・アスカラールで活動中 (本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录:

[ユングのサウンドトラック 下载链接1](#)

标签

酸素

菊地成孔

日本

评论

---

[ユングのサウンドトラック 下载链接1](#)

书评

---

[ユングのサウンドトラック 下载链接1](#)